



テムとして家庭に広く受け入れられているのだと思います。

[テレビを取巻く環境の変化]

テレビを取巻く環境が大きく様変わりしようとしています。総務省の計画によりますと、新潟県における地上波のデジタル放送が2006年から開始され2011年にはすべてのテレビ放送がデジタル化されることになります。その時はどうなるかと言いますと今のアナログテレビではテレビが見れないという時代が訪れるという事です。何故そんな事をするのか、私達はどうか対応したら良いのかについてお話します。

[テレビ放送のシステムについて]

その前にテレビ放送のシステム全体について、予備知識としてお話しします。

三条市内に住んでおられるご家庭のテレビ放送受信はまず地上波放送です。これは弥彦山から発せられる放送電波をUHF・VHFのアンテナで受信します。これによりNHK・NHK教育・BSN・NT21・NST・TeNYの6チャンネルをご覧になれます。次にBS放送です、日本の標準時明石市の東経135度の一寸西側の東経110度、その赤道上空3万6000Kmにある放送衛星から送られた電波をBSアンテナで受信します。これによりBS1、BS2のチャンネルをご覧になれます。参考までに何故東経135でなくて東経110度かと言いますと衛星は太陽光発電方式ですので日本が夜になっても電源供給が出来る衛星の位置としているのです、3万6000Kmは秒速3Kmの超高速で飛行している衛星の遠心力と引力が丁度釣り合いの取れる位置なのです。続いてCS放送、これも新しく東経110度の位置に打ち上げられており約300chのデジタル放送電波を送っています。このBS、CSとも東経110度に在るためにデジタル受診アンテナが一台で共用することができます。

さてテレビ放送のデジタル化とは、この弥彦山からの地上波のデジタル化を指します。

[何故地上放送のデジタルが必要なのか]

それではなぜ放送のデジタルをする必要があるのか、政府が国策と位置付ける理由は何かと言いますと、高画質・高音質、見たいチャンネルが簡単に選べる、双方向だから番組に参加できる、高齢者・障害者に優しいサービス、外でもテレビが見られる等デジタルテレビを享受できるとしていますが、本音は次の点だと思います。

- ①「欧米諸国に遅れをとるな」放送分野全般にわたる国際競争力を維持・強化する。
- ②「移動体通信の周波数確保」急激な携帯電話の普及により周波数帯域の一層の飽和が懸念

[地上放送のデジタル化最大の問題点は何か]

この地上波デジタル化の最大の問題点は2006年から2011年までアナログとデジタルの両方放送するいわゆる「サイマル放送」の時に両波の混信が生じるエリアが出てくる、そのためにアナログを別のアナログに置き換えること必要で「アナアナ変換」と言いますがこれに2000億円かかると言わ

れています。

では地上放送のデジタル化にいったいどれくらいのお金がかかるかと申しますと約1兆円超の総投資額と言われております。

逆にその経済効果は投資売上高で76兆円、経済波及効果で212兆円、雇用誘発効果は711万人と試算されています。

[BSデジタル放送が普及しないのは何故か]

地上波デジタル放送に先駆けて2000年から実施されたBSデジタル放送の普及はどうなっているのでしょうか、爆発の人気になっているのでしょうか、本年9月末時点のBSデジタル普及世帯は322万世帯となっています。ところがデジタル本来の視聴スタイルの世帯はこの約半分の165万世帯で、残りの157万世帯はケーブルテレビでBSデジタルをアナログ放送で見えておりまして実質普及率は3.7%に留まっております。

この原因は機器（デジタルハイビジョンテレビ・BSチューナ）が高価である事とコンテンツ（番組の内容）に魅力がない、豊富に供給されないことが原因しているようです。

[どう対処したら良いか]

前述の普及状態だがテレビのデジタル化は間違いなくやってきます、その時どう対処したらよいかについてお話いたします。

(1) いま使っているテレビで見る。・・・UHF対応アンテナと地上デジタルチューナーを取付けて視聴する

(2) より高画質を楽しむ・・・ハイビジョン対応型テレビやデジタル端子（D3またはD4）付のテレビをお持ちの場合は、UHF対応アンテナと地上デジタルチューナーを取付けることで高画質な放送が視聴できます。

(3) ケーブルテレビ・・・全てケーブルテレビ側で対応するので、特別の場合を除き、テレビを買い換える必要もなく、地上デジタルチューナやUHF対応アンテナを取付ける必要もなく対応できる。

[されどケーブルテレビ]

ケーブルテレビの仕組みは、番組供給会社から送られてくる地上波と衛星波を受け、市内に張り巡らした光ケーブルと同軸ケーブルを使って各ご家庭に配信するシステムです、また双方向機能を生かしたインターネットも出来る放送と通信の統合メディアです。

放送の分野では、番組供給会社から番組をあらゆるジャンルからよりすぐり39ch（基本25ch）を放送しております、この中には三条地域の話題、ニュース等も9chとして自主放送しています。是非皆様方からの情報をお寄せ下さい。

ケーブルインターネットはいわば広域のLANであり高速で快適なインターネットが可能です。